

■アンケート概要

アンケート概要	映画「火垂るの墓」を見たことがある方へのアンケート
調査期間	2025年04月3日
回答数	57人(20代～40代)
アンケート調査元	株式会社クラウドワークス

■アンケート項目

1. 年齢を教えてください
2. 性別を教えてください
- 3.「火垂るの墓」の評価を星1～5で教えてください。
- 4.「火垂るの墓」を実際に見た感想を教えてください。

1. 年齢を教えてください。	2. 性別を教えてください。	3. 映画「火垂るの墓」の評価を1?5で教えてください。	4. 映画「火垂るの墓」を実際に見た感想(ネタバレを含む)を教えてください。
30代	男性		5 節子の演技がすごい良くてとても良かったです
60代	女性		5 何度もテレビで見っていますが、何度見てもかわいそうで戦争の悲惨さに涙が出る感動の物語です。
40代	男性		4 観る立場や年齢によって、捉え方が違う不思議な映画です。主人公が悲しい道を辿ったのは自分のせいだというのが今の主流ようです。
40代	女性		4 とにかく悲しすぎる作品。妹を燃やすための炭を集めるとか、衝撃。もう二度と戦争は起こってはならない。強く思える。
50代	男性		4 節子と清太のやり取りがせつなく、涙してしまう作品
30代	女性		5 すごく泣かずにはいられないほど良い作品
30代	女性		4 今までにない繊細なストーリーでいつまでも心に残る良い作品です。
40代	男性		4 戦争時の悲惨な生活や風景が分かり、その中での些細な暖かさがある映画だと感じた。
20代	男性		4 この「火垂るの墓」のアニメを見て、昭和の戦争時代のおそろしさや、それに巻き込まれてしまった人々、平和の尊さ、生き方といったものを学ぶ事ができたと思います。
30代	男性		4 戦争体験はないけれど、戦時中の状況が生々しく描かれており、子どもの時と大人になった時では別の感情が湧く映画だった。随分以前に観たので詳しく覚えてないが、『戦争は二度と起こしてはいけない』と強く感じた。戦争の悲惨な面と、厳しい状況でも生き抜いていこうとする人間の美しい面を考えさせられる名作です。
40代	男性		4 戦争の愚かさ、その時代に生きる人間の良いところ、悪いところが出ている。
30代	女性		3 子供の頃は何も思わず観ていたけれど、大人になって観ると、戦争中の貧しさ、悲惨さ、辛さを描いていてすごく悲しい気持ちになったのでもう観たくないと思いました。でも戦争の悲惨さを知る為に、観たことない人には観てほしい作品です。
30代	女性		1 物語は分かりやすく絵は素敵ではあるが、やはり内容が戦争の話だけに残酷であり、心が痛みます。戦争で子供が親より先に逝ってしまうと考えただけでも気が狂いそうです。これが現実だったことを忘れてはいけないと目や耳に焼き付けるべきだと思うのですが辛すぎるので星1にさせて頂きました。
30代	女性		5 戦争の一面を切り抜いた映画だと思います。戦争はいろんな面があったと思いますが、子供が主人公の子供が生き抜こうとした物語だと思います。
20代	男性		4 戦時下の子どもたちの悲惨な状況がとても悲しく辛く、絶対に戦争をしてはならないという気持ちになりました
30代	女性		5 戦争の時代について知ることが出来て、心打たれる衝撃的な内容だった。
50代	女性		5 私は映画と舞台で「火垂るの墓」を観ました。舞台も良かったですですがやっぱり映画版が一番感動しました。とにかく悲しすぎる話でした。目を背けたくような光景が頭にこびりついて離れません。なぜ戦争をしないといけなかったか、なぜこんな犠牲を強いられるのか。戦争という課題は日本人として今後もずっと引き継がれていかないといけないと強く思いました。
20代	女性		4 妹が空腹から異物を食べてしまうところは心が痛い
30代	女性		5 親を亡くした年の離れた兄妹が戦争の時代に必死に生きて行く物語です。兄の優しさと妹の思いやりが描かれていて、協力して生きていくけども現実は甘くなく、栄養失調で妹が徐々に弱っていき、兄は盗みをしたりどうにかして飢えをしのぐも結局妹は守れず亡くなってしまうという、とても切なく心が痛くなる物語です。今自分がいる世界が、生活が、いかに幸せかを気付かせてくれて、本当に平和が大切なんだと思わせてくれる作品です。
50代	女性		3 戦死された方の遺体を二人で抱えモノのように投げている場面があった。それを見て昭和一桁生まれの母が「国の為に死んだのに遺体をあんな風に扱うなんて酷いよね」と言っていました。その母の言葉が忘れられません。亡くなったご遺体に対して尊厳を持って扱うべきだと思います。
40代	男性		5 戦争中に生きる幼い兄と妹が必死に生きる姿と冷たい大人に考えさせられます。
20代	女性		4 最後まで諦めないせつ子に感動しました
30代	男性		5 戦争の残酷さや無力感がリアルに伝わってきて、ラストシーンでは、涙が止まらず、戦争の悲惨さを改めて実感させられました。
30代	女性		5 戦時中の様子を知ることが出来る有名な映画の中の1つで、子供の頃見た印象と大人になってから見た時の印象が変わる。
40代	男性		3 創作とはいえ、兄妹の最後が悲しすぎた
40代	男性		4 何度見てもセツコが段々弱っていき、やがて亡くなってしまう様が切ない気持ちにさせられます。

30代	男性		5	ラストシーンの兄妹愛に泣けてくる。バッドエンドですが、感動する内容です。
50代	女性		5	戦争の時の日本は今では考えられないほど悲惨な状況で、涙が止まらなかったです。 戦争は二度としてはいけない、自分が今どんなに幸せなのか、考えさせられる映画でした。 息子は今9歳ですが、もう少し大きくなったら、ぜひ見せたいと思います。
30代	女性		3	戦争について改めて考えさせられる映画だと感じました。食べ物や命の大切さが身にしみます。自分の子どもにも一度は観てもらいたい映画です。
20代	女性		4	実際に戦争の怖さやリアルを教えてくれる作品だと思いました。
60代	女性		5	戦争で父親を亡くし、空襲で母親を亡くしてしまうという、二人の兄妹愛の物語です。親戚の家に引きとられていきますが、家族とはうまくいかず、二人で穴倉の生活を始めます。最初は、自由に生活ができていましたが、少しずつお金や食べるものに不十分な生活が始まります。幼い妹は、食べるものがなくやせ細り栄養失調で亡くなります。その妹の遺体を兄が、一人茶毘するということでも今では、想像することができないくらい悲しいお話です。作家、野坂昭如さんの実体験を本に著して、映画化されました。戦争の体験をした人にしか分からないことがあると思います。この物語には、悲しさや、生きることの辛さが、心の奥深くしみ込んできます。
30代	男性		2	思い出ただけで気分が暗くなるような残酷なシーンがあり、そこがややトラウマになっている。
30代	女性		5	戦争の悲惨さがこの映画のテーマですが、子供だけで何とか生きようとする事に対する現実の厳しさが辛いです。
30代	女性		4	戦時中の子供達の現実が映像や声や音から生々しく伝わってきました。 せつこが亡くなった時の兄の悲しさや虚しさなどの心境も映像などから伝わってきました。
40代	男性		4	セツコみたいな愛に溢れる妹が欲しかったです。
40代	女性		5	テレビで初めて観たときに、内容が衝撃的で辛くなりましたが、自分の知らない戦争時代の話少しでも知りたいという気持ちもありました。映画を観ながら、祖母から聞いていた戦争時代の話の時折思い出しました。そして何度も涙が流れました。悲しいお話ですが、心に響いた忘れられない映画の一つです。私自身、滅多にDVDを購入しないのですが「火垂るの墓」に関しては、手元に残しておきたいという考えにいたり、後日購入しました。
30代	女性		4	親を亡くし、自身もまだまだ子供なのに幼い妹を守ろうとする姿に、戦争の残酷さを思い知った気がする。
60代	男性		5	何度も見ましたが、そのたびに、戦争の悲惨さを感じて、二人の兄弟の最後がいつも泣ける映画です。
40代	女性		4	とにかく切ない。兄妹の死が何を伝えようとしているのか、考えるととてもつらい気持ちになる。それでも目をそらしてはいけない戦争のむごさを私たちに伝える作品だと思う。
30代	女性		4	兄妹2人が、国の戦争や周りの大人達の都合によって振り回されていく様子が、観ていて辛くなった。ただ、そのような状況の中でも、兄妹のまっすぐな心が表現されていて、とても心に残った。
50代	男性		2	どういわれようと親戚のところでお世話になっていたら悲しい結末を迎えなかったのにと、兄にイライラしました。
50代	女性		5	これを見ると必ず泣いてしまう。見るたびに反戦の思いを新たにする。
30代	男性		3	とても悲しい話ですが、これから忘れてはならないものだと思います
40代	男性		4	戦争の恐ろしさを凄く感じられましたね。節子と兄のやりとりリアルさがあって見ていて凄く切なくなります。それから後半になるにつれて段々と節子が衰弱していく姿に涙が溢れましたね。最初の方はとても元気だっただけに後半の変わりようがより切なさを助長しますね。
50代	男性		4	高畑作品は誤解されやすいんですね。この映画もそうで、火垂るの墓って、反戦映画だと思っている人が多いですが、テーマは心中もの、それも血の通った兄妹の、と言うことを理解できてない人が余りにも多いと思います。清太は、ある程度のお金を母親に残してもらっています。また、プライドを捨てて頭を下げて他の大人に頼れば、生きていける環境にもありました。それを示唆する描写がいくつもあります。結果、妹を死なせ自らも駅で野垂れ死ぬことを選びます。その一連の出来事を煉獄の中で現代に至るまで、何度も何度も繰り返している映画が、火垂るの墓です。戦争の怖さより、オカルト的な怖さの方が、際立つ映画だと思っています。
40代	男性		3	第二次世界大戦中の神戸を舞台に、両親を亡くした清太と節子の兄妹が生き残るために奮闘する姿が描かれています。物語の終盤、終戦を迎えますが、大人に頼ろうとしなかった2人は結局亡くなってしまいます。確かに、悲惨でかわいそうな物語ですが、一方で、戦時中、皆に余裕がなく、誰にもどうしようもない状況の中で自分たちがやりたいように生きる選択肢を選んだ清太にも、もう少し大人の言う事を聞いたり柔軟な選択が出来たら、きっと未来は変わったのではないかと、とも思っています。
30代	女性		3	一度は見た方が良い映画です。戦争のひどさを知ることができました。心がとても痛いですが、戦争は良くないことだと子供に見せてあげたいです。
50代	男性		5	戦争の悲惨さが伝わる悲しい映画であるが、後世まで伝えていってもらいたい映画である。
20代	女性		5	小さい時に見ましたが、戦争の悲惨さを理解することができました。 妹が死んでしまう時は自分のことのように悲しくなりました。 自分の子供にも理解できるようになったら見せたい作品です。
40代	女性		5	何度見ても泣ける。一度ストーリーを知ってしまうと辛すぎで見れない部分もある。
20代	男性		5	戦争の残酷さを改めて認識させられる
30代	女性		4	初めて見た時はショックを受けた。日本人の考え方や価値観が分かると思う。余裕がないと優しくできなくなる人間らしさ、その中でも家族への思いに何回みても戦争とはどういうものか考えさせられる。
30代	男性		5	あの時何が起こっていたのかを詳細に描いているが片方を悪く見せることもない素晴らしい映画
20代	男性		5	戦争の悲惨さを感じる作品でした
40代	女性		5	戦争の、特に弱い立場のこどもなどに与える悲惨さがよくわかる素晴らしい映画だと思う
30代	女性		4	戦争の悲惨さを実感できて色々な人におすすめしたいです。 節子の生気の無い目が印象的で見ていてつらかったです。
30代	女性		5	地元が神戸だからこそ、『火垂るの墓』を観た。戦争は教科書で学んだけれど、実際はどんなものだったのか知りたかった。 親戚のおばさんの態度にはモヤモヤした。居候の清太と節子には冷たい。腹が立ったけれど、戦時中の厳しさを思うと責めきれない自分もいた。 清太は妹を守ろうとした。でも現実には厳しく、無邪気な節子の笑顔が余計に胸を締めつける。彼らの絶望は他人事ではなく、戦争は人生を容赦なく奪うものだとも痛感した。
40代	男性		5	今の平和な日常が、どれほど貴重なものか。この映画は、それを突きつけてくる。
30代	女性		4	火葬のシーンで胸に迫るものがあつた。人との別れはこういうものなのだと知った。
30代	女性		4	幼い頃に観た時はただ単に親戚のおばさんが冷たい人で清太と節子が可哀想だと思っていたが、大人になってから観てみるとおばさんも戦時中で必死に生きているし、亡くなったお母さんは子供二人を残して無念だっただろうなと悲しい気持ちになって、誰も悪くない、戦争が悪いという感想になった。現代では色々と刺激が強くて放送が難しい作品でもあるかもしれないが、戦争とはどういうものなのかと再度考えるためにも幅広い世代の人が観るべき作品なのではないかと思っています。

30代	女性	3	子供の頃に初めて見た時はただ悲しい話でよく分からなかったが、大人になって見ると改めて戦争の惨さを思い知らされる作品。悲しくて楽しい話ではないけど、戦争を知らない人たちに知ってもらいたい大切な作品だと思った
-----	----	---	--